**●●●●●●タイトルMSｺﾞｼｯｸ16pt、太字●●●●●**

**―●●サブタイトル●●**

●●著者名12pt●●[[1]](#footnote-1)

|  |
| --- |
| **要　旨MSｺﾞｼｯｸ12pt、太字**～～～適宜、日本語で1,000字程度（本文を英語とする場合には、英語による300words程度の要旨及び日本語による1,000字程度の要旨の両方）を記入してください。本文の体裁については、投稿要領の指示に従ってください。フォントは「ＭＳ明朝（英数字はCentury）10.5pt」、行間は「１行」としてください。本文の構成の形式（章・節・款・目の区分、これら区分に係る番号及び見出しの付し方等）は、当該投稿論文等に係る学術の分野における慣例に則り適切なものとしてください（以下に掲げている本文の構成の形式は、一例に過ぎません。）。注は、脚注としてください。参照した文献についても、当該投稿論文等に係る学術の分野における慣例に則り適切に記載してください～～～～。　※「要旨」は、J-STAGEの「抄録」に掲載します。（表：幅154mm、左端からのインデント：－2mm）（段落：両端揃え、インデント：左1mm右1mm、字下げ：１字、行間：１行）**キーワード：５つ程度、ご記載ください。MSｺﾞｼｯｸ10.5pt・太字** |

# １．●●●●（はじめに、とされる方が多いです。そのとおりにされる必要はありません。）

～本文～～～ここで掲げている構成の形式は、一例に過ぎません。当該投稿論文等に係る学術の分野における公正な慣例に則り適切なものとしてください～～～～～～～～～～～～～～～～～[[2]](#footnote-2)（MS明朝（英数字はCentury）10.5pt、字下げ１字、行間１行）（両端揃え）

～本文の分量は、原則として30,000字以下（英語の場合には、10,000 words以下）かつ、20頁以下（1頁は、40字×40行。図表は印刷イメージで原稿字数に換算。）とします。～

引用文献の筆者強調など「強調」を行う場合、圏点、傍点、脇点機能やルビ機能等は使用せず太字、下線でお願いします（J-STAGEのHTML掲載時には太字になります。）。

# ２．●●●●●●●●●●●●●●●（MSｺﾞｼｯｸ10.5pt、太字、字下げなし、行間１行）

## ２．１．●●●●

～本文～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

### ２．１．１．●●●

～本文～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

### ２．１．２．●●●

～本文～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

## ２．２．●●●[[3]](#footnote-3)

～本文～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～[[4]](#footnote-4)

### ２．２．１．●●●

～本文～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

## ２．３．●●●●

～本文～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

# ３．●●●●●●●●●●●●●●●

## ３．１．●●●●

～本文～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

## ３．２．●●●●

～本文～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

### ｎ．ｎ．ｎ．数字および「．」は全角、番号付段落は使用しない（←これらも、一例に過ぎません。当該投稿論文等に係る学術の分野における慣例に従ってください。）

～本文～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

**（１）●●●●**

**（ａ）●●●●　ｎ．ｎ．ｎ以下のレベル、および箇条書きは適時使用可。番号付段落は使用しない**

図１．図タイトル（番号は論文全体の通し番号）MSｺﾞｼｯｸ10.5pt

（出典）総務省「ケーブルテレビの現状」（平成30年）
出典がある場合は図表右下に記載

表１．表タイトル（番号は論文全体の通し番号）MSｺﾞｼｯｸ10.5pt

（出典）総務省「ケーブルテレビの現状」（平成30年）を元に筆者作成

# ｎ．●●●●●（おわりに、まとめなどとされる方が多いです。そのとおりにされる必要はありません。）

～本文～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

（２行空けてください。）

**参考文献**MSｺﾞｼｯｸ10.5pt、太字

（参照した文献や引用した文献については、当該投稿論文等に係る学術の分野における公正な慣例に則り適切に記載すること。）（「引用文献」と表示していただいても問題ございません。）参考文献内で、＜＞<>は使用しないでください（「（）」「()」を使用）。

※ここに記載されている内容は、J-STAGEの「引用文献」に掲載します。

（２行空けてください。）

（掲載決定日：●年●月●日／オンライン掲載日：●年●月●日）MSｺﾞｼｯｸ10.5pt

※掲載時に、研究所が日付を入れます。

**推奨アプリケーション：Microsoft Word**

**基本設定**

・用　　紙：A4縦置き横書き

・文字数と行数：1行40字、40行

・余　　白：上35mm、下30mm、左右30mm

・タイトル：MSｺﾞｼｯｸ体16ポイントで太字

・著 者 名：MS明朝体12ポイント

・見 出 し：MSｺﾞｼｯｸ体10.5ポイントで太字

（※本フォーマット中の見出し番号、段落番号の振り方は一例であり、当該投稿論文等に係る学術の分野における公正な慣例に則り記載してください。）

・本文、注及び参考文献：MS明朝10.5ポイント、英数字：Century、両端揃え

**図表を挿入する場合**

・図表の上に、図表番号及びタイトルを付ける。図表番号は、論文全体の通し番号とする。図表のタイトルは、MSｺﾞｼｯｸ体10.5ポイント。

・図表内に記載する文字、数字等は、和文10.5ポイント、英文11ポイントとする。

やむを得ない場合は8ポイント以上とする。

・図表は文字のエリア（40文字）以内に収めること。

・表は、罫線を利用した状態で作成すること（罫線を使用せずスペース等で形を整えるなどして表を作成した場合、J-STAGEのHTML掲載時に同じ形となりません）。

・図表の画像ファイルは、jpeg、gif、png形式とすること。

**留意事項**

・掲載決定後、研究所からの指示に従って、校正するとともに、版下を作成し、指定する期限までに御提出ください。

その際、次ページの「書誌等の英訳（和訳）等データ」を御提出ください。また、可能な範囲で、図表等の元データ（jpeg、gif、png形式）を御提出ください。

・学術雑誌『情報通信政策研究』は、研究所ウェブサイトにより刊行し、さらにJ-STAGE及び製本誌での刊行が行われる予定です。それぞれの媒体により、研究所において形式等を変更することがありますので、予め御了承ください。

特に、J-STAGEへの掲載では、J-STAGEの仕様に沿った形式での掲載となりますので御了承ください（特に図表等は、必要に応じて当方で再作成させていただく場合がございます。）。

# 書誌等の英訳（和訳）等データ

※掲載決定後、版下作成時に御提出ください。

（原則として、すべての項目を御記載ください。やむを得ず作成が困難な場合は、要旨（抄録）の項目は任意とします。）

※J-STAGEへ掲載する等、本文と同様に扱い、利用させていただきます。

|  |  |
| --- | --- |
|  | **英　訳**※本文が英語の場合は、和訳を記載してください。 |
| 論文等の題名Title |  |
| 著者名Author Name |  |
|  |
| 著者の所属Author's organization |  |
|  |
| 要旨（抄録）Abstract | ※英語による300words程度の要旨（本文が英語の場合は、日本語による1,000字程度の要旨） |
| キーワードKeywords | ※本文で記載したキーワードの英訳（本文が英語の場合は、和訳。） |

1. 著者のご所属を記載してください。（脚注番号はCentury。脚注は本文と同じ。） [↑](#footnote-ref-1)
2. この本文の構成の形式は、一例に過ぎません。投稿要領に掲げる指示に従って、構成の形式（章・節・款・目の区分、これら区分に係る番号及び見出しの付し方等）は、当該投稿論文等に係る学術の分野における慣例に則り適切なものとしてください。（両端揃え） [↑](#footnote-ref-2)
3. 脚注（必ず脚注機能を使用。MS明朝（英数字はCentury）10.5pt） [↑](#footnote-ref-3)
4. 脚注　小型英大文字は、文字ポイントの大小で作成せずWordの機能（フォント-文字飾り）を使用してください。脚注内で＜＞<>は使用しないでください（「（）」「()」を使用）。 [↑](#footnote-ref-4)